

原生沼

原生沼は雲仙地獄温泉のちょうど西に位置する。天然記念物として指定された（1928年）この沼は日本の最も珍しい風景のひとつで、生物の多様性が注目されている場所であり、生態学的遷移の素晴らしい一例である。

科学的な分析によると、原生沼はかつて雲仙の有名な温泉、「地獄」の荒涼とした風景と似ていたことがわかっている。しかし、数千年を経て、噴気現象がゆっくりと西へ移動した。この動きが沼地の下の部分を冷やし、1500年前にはほとんど何もなかった場所で、珍しくも生態系が活発化した。

まず、状態が改善したことで、ミズゴケ(ピートモス)が素早く繁殖した。現在、花を咲かせるツツジから食虫のモウセンゴケやカキツバタまで、広範な植物が沼地に生息している。残念ながらおそらく気候変動の影響で水位は落ちており、今後沼地は100年前のような景観を保てないかもしれない。